



地域再生 協議会だより

百合が丘 2 - 29 - 6 (老人憩いの家) 59 - 9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

盛況!! やまゆい里山音楽祭

11/5 80 人の大合唱響く

文化イベント振興部会 (三浦憲門部会長) が 11 月 5 日 (日) に開いたやまゆい里山音楽祭は、大きな盛り上がりの中で閉幕した。会場の一色小体育館は、開場前から行列ができ、入場者は昨年とほぼ同じの約 400 人に達した。

岡村会長、村田町長のあいさつの後、プレコンサートがスタート。再生協議会の活動紹介ビデオ「もっと元気な住みよい街に」が大スクリーンに映し出された。

コンサート本番は山内みどりさんの軽妙な司会の下で進行。桑田葉子、一石洋子さんをはじめとする地域とかかわりの深い声楽家、演奏家が相次ぎ登場し、盛大な拍手を浴びた。最後は、6 月に結成したやまゆい合唱団が登場し、「紅葉」ほか 3 曲を披露した。未就学児から 97 歳まで総勢 80 人からなる 4 部合唱が会場いっぱいに響き渡った。なお、同合唱団は、来年 1 月 20 日 (土) のラディアンでのフォーラムでもその歌声を披露する。



役員の方から音楽祭、合唱指導の話が持ち込まれてから約半年。住む地域の違う私が、一色小校区の皆様とともに良い仲間になれました。毎回少しずつ練習を積み重ねてきましたが、夏の辛いスランプの時期を経て、秋の本番直前にはめざましく進化しました。まさに amazing (驚き) ですね。素晴らしい方々とご一緒している感謝を、いつも感じています。

山内みどりさん (合唱指導)

一色小では来年 4 月からコミュニティースクールが始まりますが、合唱団では、「歌」を通じた地域と学校のつながりに確かな手ごたえを感じました。学校 (子供) と地域、地域の人たち同士の一体感も高まりました。台風で大荒れの日にも 70 人もの団員が集まったのには驚きました。来年以降、二宮小や山西小学区でも合唱団を立ち上げたいですね。



府川陽一教育長



やまゆり里山音楽祭でお世話になった多くの皆さまに、心からお礼申し上げます。合唱団の結成では初めて集った地域の住民が先生方の厳しくも暖かいご指導のもと、合唱練習と発表会を通じて親交を深めることができたことは大きな喜びです。音楽祭を通じて知り合い培った地域住民の力が、今後展開される再生協議会の計画・行事の成功への一助になれば幸いです。

三浦憲門さん（部会長、緑が丘）

公募で結成した合唱団なので、最初はどうか不安でした。ところが、団員の皆さんの熱い想いと、役員さんたちの頑張りで、どんどん暖かいハーモニーが生まれ、気持ちが一とつになっていきました。本番は聴衆の皆様にご感動していただける素晴らしい合唱になりました。これからも音楽を介して、地域が活性化していけたらと思っております。高寺真美さん（ピアノ）



にわか仕立ての合唱団がここまで盛り上がると思わなかった。地域を超えて集まった80人もの人たちが、一体感を持てるなどということはめったにないこと。道ですれ違っても声を掛け合う仲間が一気に増えた。素人集団をあそこまで引き上げてくれた諸先生には感謝感謝です。欲を言えば、子供の参加が少なかったことかな。

橘川修二さん（一色）

発表会からひと月近く経つのに、会う人ごとに「合唱はとても良かったね」と言ってくれます。指導の先生、支えたスタッフ、参加した方々が一体になれたのが何よりもよい結果につながったと思います。36人のソプラノの世話役をやりましたが、皆さん協力的でとてもスムーズに進みました。地域での交流の輪がもう一段広がりました。



永井二三子さん（百合が丘）



桑田葉子さん



一石洋子さん



岩崎千恵さん



オカリーナの会



菊地彩也さん



この間、月2回の練習日が楽しみでした。終わった今、張りがなくなりました。英語の歌はテープに入れ、随分と練習して何とかこなせました。日常生活の中で大きな声を出すことはほとんどないが、合唱では自分でも信じられないほど大声を出していました。迫力ある4部合唱になったのはそのせいですね。来年も皆様と大声を出すのが楽しみです。

築取正通さん（百合が丘）

地域のカラオケ会に参加している程度だったのに、アメイジングのような本格的な合唱曲を思い切り歌うことができました。指導してくれた先生たちは素晴らしかった。みんなとても喜んでいました。緑が丘以外の人たちと知り合い、一体感を持てたのもよかったです。こういう地域活動はずっと続けて欲しいですね。



山本洋子さん（緑が丘）